

関係各位

「がん検診企業アクション」の事業概要のご案内

1. 事業名称

■事業名称：「がん検診受診促進企業連携推進事業」

■事業略称：「がん検診企業アクション」

2. 事業ロゴ



3. 主旨

がんは、今や2人に1人（生涯リスク：男性は54%、女性は41%）が罹患し、死亡原因の第1位に挙げられています。人口比における死亡割合は世界でも突出して高く、その実態は世界一の「がん大国」といっても過言ではありません。

そのため厚生労働省では、「がん対策推進基本計画」（平成19年閣議決定）の中で、5年以内がん検診の受診率を50%以上とすることを目標に掲げました。今年からこの目標を達成するために、国、地方自治体、企業、検診機関、患者団体などが一体となって、がん検診受診率の向上のための広報を全国展開しております。

がん検診の受診率の向上を図るためには、がんに関する正しい知識の普及が重要であり、家庭や地域において相互に学び合う環境づくりを行うこと、さらには企業において経営層及び従業員等が“がん”を知り、検診への意識を高め、がん検診受診のための具体的行動へと結びつけることが、今後のがん対策の推進に必要不可欠であります。

よって、今年度からは、「住民検診」の領域では、主に自治体のがん検診受診推進事業の一環として「子宮頸がん検診」及び「乳がん検診」を対象に「無料クーポン券」が約760万人に対して配布される一方、「職域健診」の領域では、本事業がその受け皿となり、企業の経営者層及び従業員の皆さま方に、がん検診の重要性を訴求するための各種啓発活動を推進する運びとなりました。

がん検診企業アクションは、最終的には、がん検診を“自分事化”させるための、がんへの理解醸成に向けた啓蒙活動（＝国民運動化）として推進し、がん検診受診率向上を早期に実現したいと存じます。

4. 事業の狙い

本事業は、様々な企業・団体等関係者を巻き込み、職域におけるがん検診の必要性をより多くの企業経営者及び従業員に理解して頂き、がん検診受診率を向上させていくために取り組まれる事業です。特に、企業における受診率向上に向けては、「経営者の理解」、「費用負担の軽減」、「検診しやすい場の提供」、「社内の連携」という4つのポイントが欠かせない視点となります。

本事業では今年度から「推進パートナー制度」を設け、様々な企業・団体等の参画を基軸に、職域健診におけるがん検診受診率向上を目的としております。がんは早期発見されることで生存率が飛躍的に高まる病気でもあり、事業面では、“がん”の早期発見・早期治療による人財損失の回避と経営基盤の安定確保、社会面では、CSR（企業の社会的責任）をはたす企業として好イメージの確立など、大きな効果が期待できます。

また、事務局として推進パートナー企業の活動を直接的・間接的にサポートしていきます。今年度、従業員のがん検診の意識を高めていただくための小冊子（「がん検診のススメ」企業規模に応じて一定部数を無料配布：上限3,000部）、がん検診受信を啓発するためのポスター、チラシの無料配布を開始いたしました。今後は、ホームページを通じた企業の主導による先駆的な取り組み等の紹介、社内における研修会・勉強会等への講師の派遣、マスコミへの情報提供による話題づくりへの対応等を強化していきます。

尚、がん検診企業アクションでは、効率的・効果的に事業を推進するために、医療関係者・有識者及び著名人等から構成されるアドバイザリーボード（議長：中川恵一（東京大学医学部附属病院准教授／緩和ケア診療部長、厚生労働省がん対策推進協議会委員、厚生労働省がんに関する普及啓発懇談会座長 他9名）を設置し、有用な助言・提言等を頂きながら事業運営を推進しております。

以上

がん検診企業アクション事務局

（株式会社 電通内）

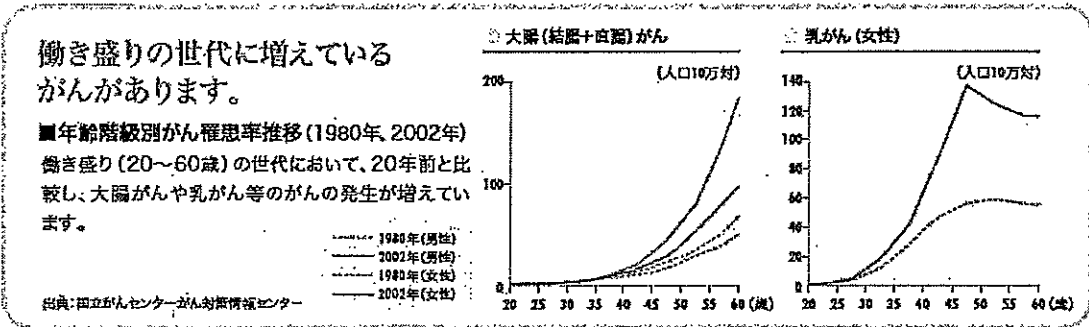
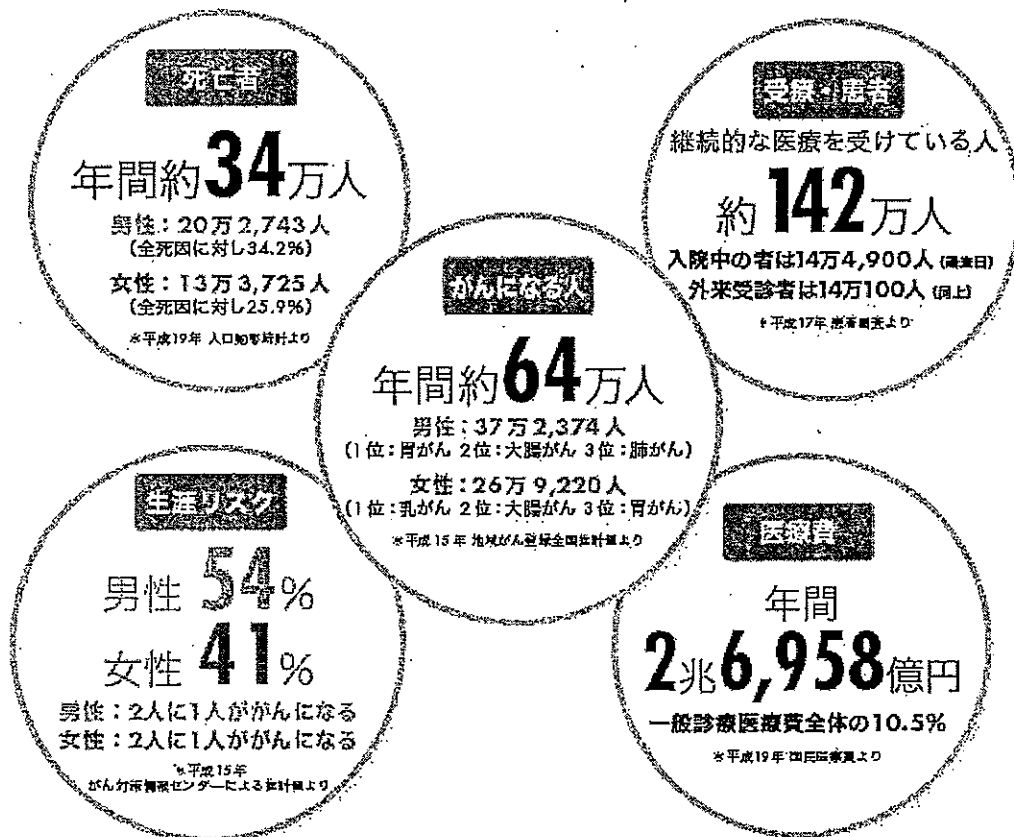
〒105-7001 東京都港区東新橋1-8-1

担当連絡先：洗川・中島（Tel 03-5815-7925 Fax 03-3827-1995）

参考資料①：がん大国日本

○日本は、人口比における"がん"の死亡割合が世界でも突出して高く、その実態は世界一のがん大国といっても過言ではありません。年間における死亡者は約 34 万人、継続的な医療を受けている人は約 142 万人にのぼり、がん関連の年間医療費は一般診療医療費全体の約 10%を占める 2 兆 4,836 億円にも達しています。

○働き盛りの世代に増えている"がん"もあり、企業にとって、"がん"による人財の損失リスクは無視できない深刻な問題です。

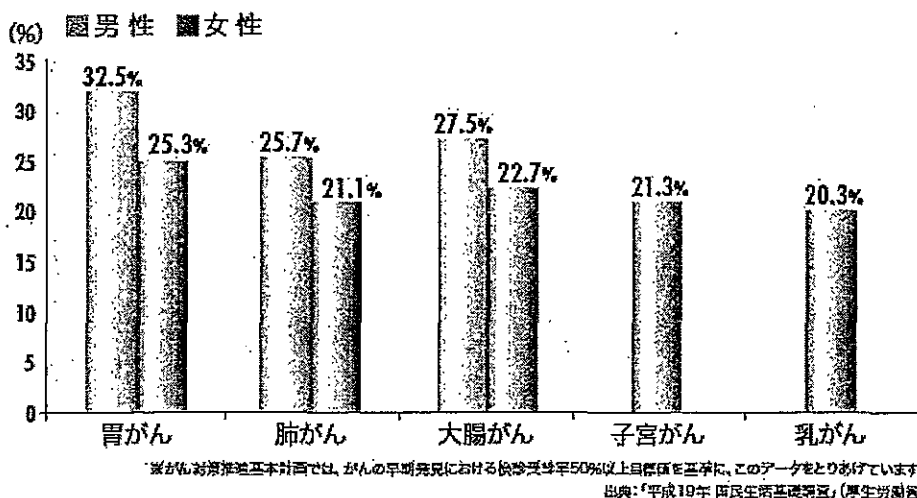


参考資料②：がん検診の実情（低い受診率）

○日本のがん検診受診率は、OECD（経済協力開発機構）加盟国 30 カ国の中で最低レベルです。欧米の検診受診率が約 70%～80%に対し、日本は 20～30%とがん検診の受診率は低く、関心あまり高くありません。

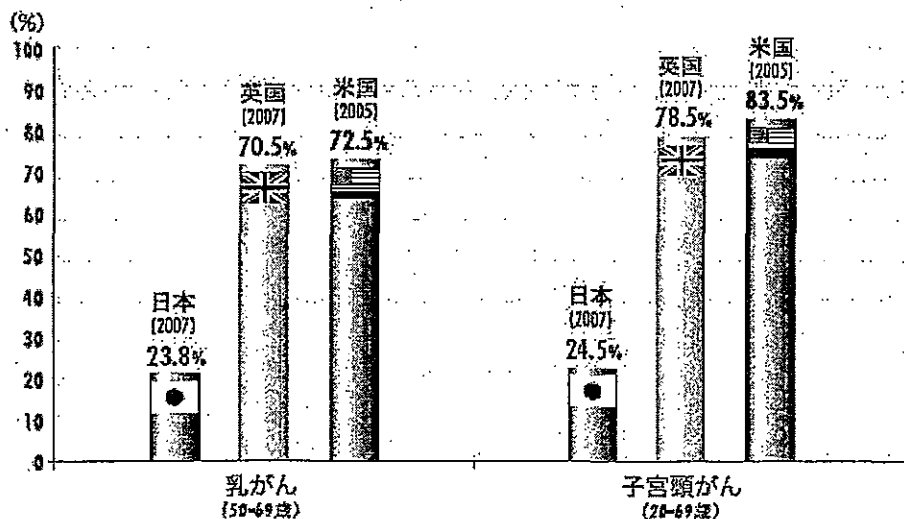
○特に、若い女性が罹患する割合が高まっている「乳がん検診」、「子宮頸がん検診」の受診率は、米国や英国と比べると日本は 1/3 以下の 20%強と低い状況にあります。

■ 日本の5がんの検診受診率



■ 日本と英国、米国における乳がん、子宮頸がん検診受診率の比較

子宮頸がんの検診の場合、米国では84%の女性が受けているのに対し、日本の受診率は21%です。とくに、20歳代の女性では子宮頸がん検診を受けている割合は11%という極めて低い状況です。



参考資料③：本事業の意義・価値

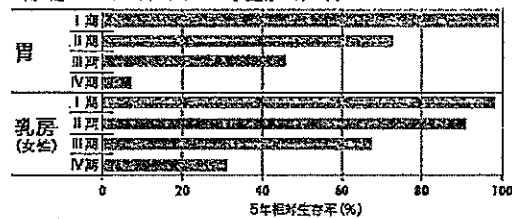
○がんは早期発見されることで生存率が飛躍的に高まる病気になっております。本事業に推進パートナーとして参画することで、事業面では、"がん"の早期発見・早期治療による人財損失の回避、従業員が安心して働ける環境や経営基盤の安定性の確保が期待できます。また、従業員の生命を大切に考える企業姿勢は、CSR（企業の社会的責任）をはたす企業として好イメージを確立できるといった効果も期待できます。

早期発見すれば、
従業員の職場復帰率もぐんとアップ。
大切な即戦力を維持でき、
経営基盤の強化につながります。

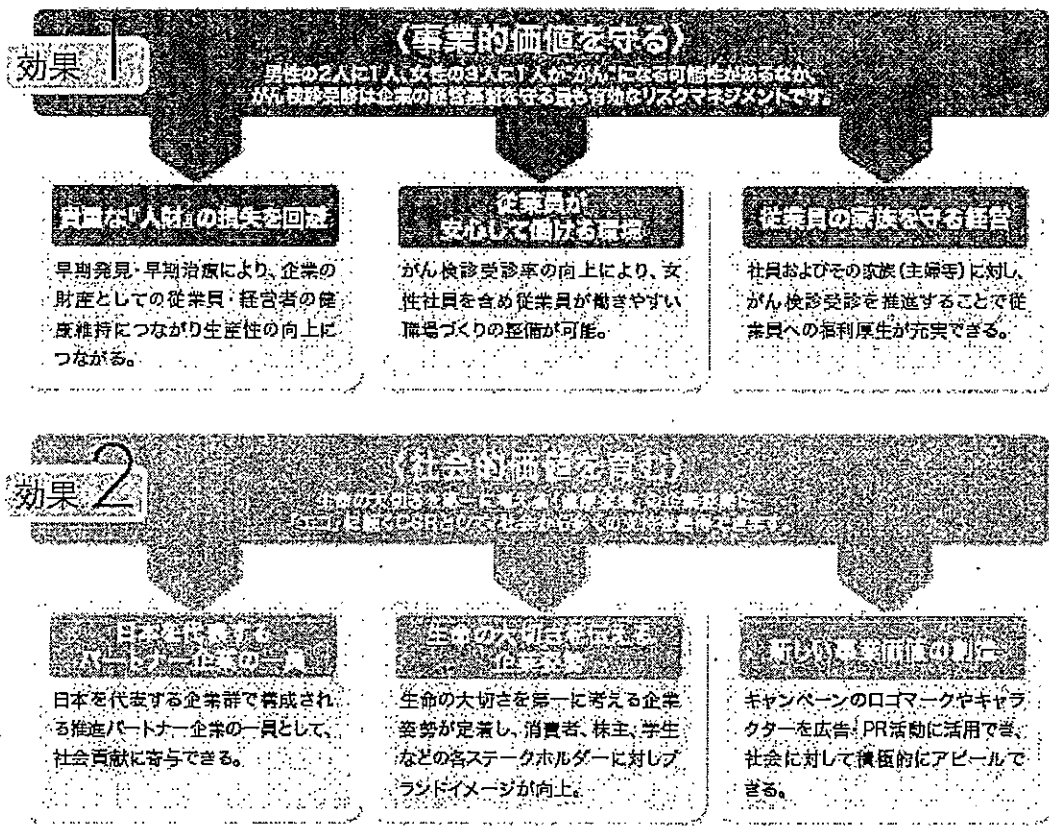
■臨床病期別5年相対生存率

胃がんや乳がん等では、早期に発見されれば、治療効果が期待できるため、生存率が100%近くなります。

I～IV期はがんの病期を表します。I期に近いほどがんが小さくとどまっている状態、IV期に近いほどがんが広がっている状態（進行がん）です。



出典：国立がんセンターがん対策情報センター



取組事例：がん検診企業アクションの取り組み

■推進パートナーとして本事業に参画していただける企業・団体様の募集

『がん検診企業アクション』に賛同いただいている団体・企業
(50音順 2009年11月30日現在 16社)

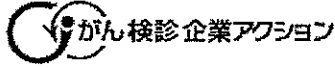
- 株式会社朝日新聞社
- アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)
- エイボン・プロダクツ株式会社
- 株式会社サニーサイドアップ
- JAL リゾート シーホークホテル福岡
- ジョンソン・エンド・ジョンソングループ健康保険組合
- 株式会社千趣会
- 第一生命保険相互会社
- 東京海上日動あんしん生命保険株式会社
- フコクしんらい生命保険株式会社
- 富士フイルム株式会社
- 富士フイルムメディカル株式会社
- 株式会社毎日新聞社
- 株式会社メディネット
- リコーリース株式会社
- 株式会社ワコールホールディングス

■ ホームページの開設

<http://www.gankenshin50.go.jp>

企業で働く皆さんのがん検診受診率向上を応援します

文字サイズ 小 中 大



→ FAQ → リンク集 → サイトマップ → お問い合わせ

がん検診企業アクションとは がん検診について がんについて パートナー企業・団体 活動レポート

がん大国
高死亡率
低受診率
早期発見
企業の検診

がん検診のススメ

- がんになる原因
- がん細胞が一日にできる数
- 早期がんを発見できる時間
- がんが見つかるまでにかかる時間
- 早期に見つけるメリット
- 日本人が、がんになる確率
- タバコがなくなれば、がんが減る
- 胃がんが減っている
- がんの治療法

がんの早期発見チェック
スタート!!

お知らせ・イベント情報 [>> 一覧を見る](#)

- 2009/11/17 パートナー企業を1社増設しました。
- 2009/11/16 経済新聞「ココカラ・ライフワークション2009」に掲載されました。
- 2009/11/10 パートナー企業を1社増設しました。
- 2009/11/05 パートナー企業を1社増設しました。
- 2009/11/02 パートナー企業を1社増設しました。
- 2009/10/28 パートナー企業を1社増設しました。

パートナー企業・団体の取り組み紹介

ここでは、がん検診企業アクションにパートナー募集された企業・団体等の取り組みを掲載していきます。今後の更新にご期待下さい!

パートナー企業・団体の取り組み紹介

がん検診企業アクション公式小冊子
「がん検診のススメ」

[ページトップ](#)

地方自治体のがん検診への取り組み
がん検診無料クーポン券

毎年10月に開催される厚生労働省 月間キャンペーン
がん検診50%キャンペーン

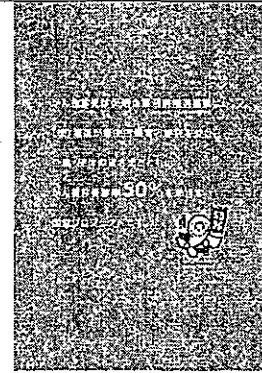
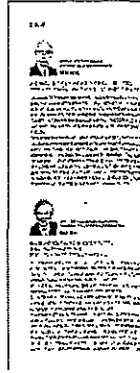
プライバシーポリシー → このサイトについて

Copyright © Ministry of Health, Labour and Welfare. All Rights Reserved.

■パンフレットの作成



MAITC GYO (株) 代表取締役社長
 田中 健一
 〒100-0001 東京都千代田区千代田
 〒100-0001 東京都千代田区千代田
 〒100-0001 東京都千代田区千代田



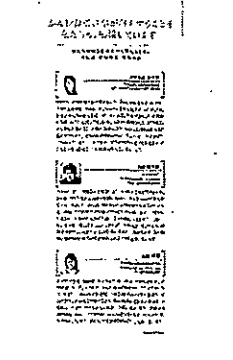
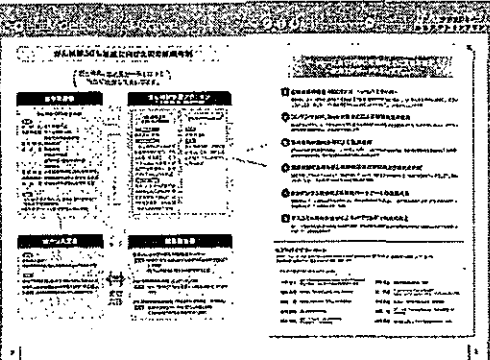
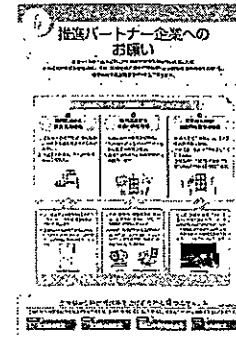
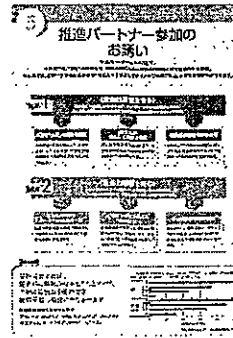
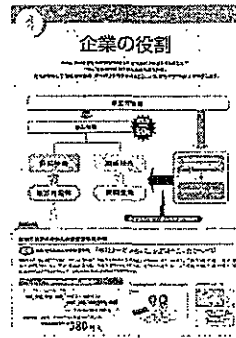
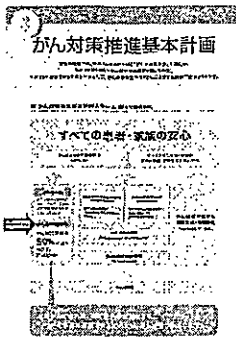
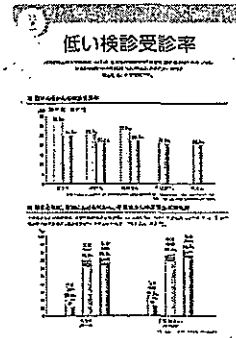
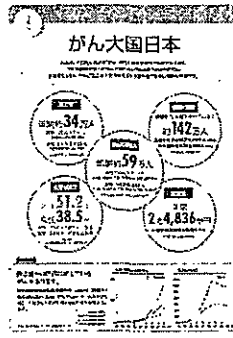
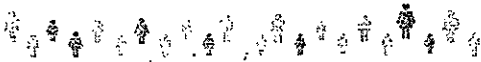
国民の

2人に1人が「がん」になり、
 3人に1人が「がん」で亡くなっています。

あなたの企業は、
 大切な「人材」を
 「がん」によって失うリスクを
 考えていますか？

- がん検診の重要性を社内に周知しているか
- がん検診の費用を会社が負担しているか
- がん検診の時間的負担を軽減しているか
- がん検診の受診率を向上させているか
- がん検診の受診率を向上させるための施策を実施しているか

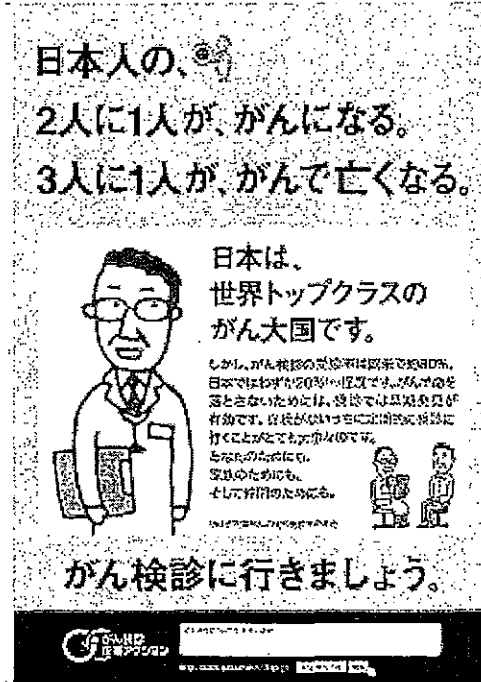
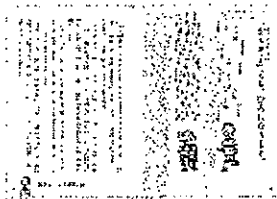
がん検診の重要性を社内に周知しているか
 がん検診の費用を会社が負担しているか
 がん検診の時間的負担を軽減しているか
 がん検診の受診率を向上させているか
 がん検診の受診率を向上させるための施策を実施しているか



■ (左) 小冊子の配布 (企業規模に応じて一定部数無料配布: 上限 3,000 部)

【文庫サイズ/56 ページ/オールカラー】

■ (右) ポスター【B3サイズ】



■ ちらし【両面カラー/A4サイズ】

がん検診 ススメ

がん検診のススメ

がん検診のススメとは、

がん検診のススメとは、

がんを知っていますか?

日本人の2人に1人が、がんに罹ります。

がんは、超難のこぼれミスから作れます。

がんは、1日に3000個作られます。

がんは、見つかるまでに10年から20年かかります。

逃げなきヤソン! がん検診

早くに受けられればがんは治癒します。

早期がんのうちにも発見できる割合は、たった1〜2年です。

がんの治療法は、自分で選ぶ時代です。

逃げなきヤソン! この冊子

がん検診のススメ

がん検診企業アクション事務局

がん検診企業アクション事務局

がん検診企業アクション事務局